

社会科教育(小) 実技・理論 研修会 終了報告

テーマ	「追究を通して、主体的に社会とかかわる力を育む社会科教育の創造」	
日時	令和 3年 7月 9日(金)	
会場	石狩教育研修センター	
講師	佐藤 正寿 氏 (肩書:) 東北学院大学文学部教育学科 教授	
参加者	8 名	
研修会 の 様子		オンラインでの開催となったが、石社研の研究主題に即した話題を提供して下さった。今の日本の現状から社会科教育の重要性を話され、そのために社会科の授業改善について話して下さった。 日々の授業にすぐに活用できる情報が満載であり、参加者も熱心にメモを取っていた。
		授業構成にかかわる話題では、 ・「なぜ?」「どうして?」「考えてみたら不思議だ…」 「解決したい!」と切実感をもたせる学習課題の設定の重要性 ・見方・考え方を働かせるゆさぶり発問について ・知る、わかる、関わるの思考プロセスを意識した授業設計 等のお話をいただいた。
		6年「これからの日本」を題材にした模擬授業 ・日本の年齢構成のグラフと出生数のグラフを提示し、少子化についての現状をとらえ、「なぜ、理想の数の子どもをもたないのか」を問い、理由について考えさせた。 ・経済的理由 ・年齢の問題 ・健康上の理由 ・仕事上の理由 ・育児の負担 …… 最後に、解決策を考えさせ、交流しオープンエンドでまとめた。
		講演で話されたことの具体的な姿を、模擬授業で見せてくださり、説得力のある内容となった。 予定時間を過ぎても、熱心に講演して下さり、参加者にとって、大変有意義な講演会となった。